

事業所名		共生型放課後等デイサービスわんぱくはうす平井園				支援プログラム		作成日		2025 年		2 月		25 日	
法人（事業所）理念		未来を託す大切な子どもたちの健やかな育ちとその家族の支援に努めます。 ひとりひとりが自分らしく幸せに暮らせるよう支援に努めます。 地域のみなさんと協働して地域福祉の向上に貢献します。													
支援方針		個別活動、集団活動の中で子どもたちがたくさんの経験を通し、人と人の心をつなぐおてつだいます。 「わかった」「できた」「やりたい」個々の気持ちを大切に、地域社会で自分らしい生活が送れるよう支援します。													
営業時間			9 時	0 分	から	18 時	0 分	まで	送迎実施の有無		あり				
		支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	健康 健康状態の把握(視診・検温・体温調整)、手洗いや室内消毒を徹底し、生活習慣や環境を通して健康な心と体を育て健康的な生活が送れるよう支援する。 生活 生活リズムの中で時間に応じた行動の切り替え(視覚的支援)や基本的な生活スキル(食事・トイレ・衣服の着脱・身だしなみ等)の自立をめざす。 生活する上で必要なことを日常に取り入れ、体験する。(お当番→台拭き・食器洗い拭き・洗濯物たたみ・掃除機・ゴミ出し)													
	運動・感覚	運動 散歩やリズム体操、戸外あそびを通して体の使い方やバランス感覚、距離感を養う。また型はめや紐通しなど手先を使った微細運動を遊びの中で取り入れる。 感覚 季節の創作活動を通じて、描く・塗る・切る・形成するなどの動作や様々な道具の使用、触感や色彩を感じることでの視覚や聴覚、触覚など感覚の活用につなげていく。 特性を理解して、個々に応じた環境の提供(感覚過敏への合理的配慮)													
	認知・行動	認知 予定やスケジュールを一緒に作成(ホワイトボードやカレンダー)し、見通しをもって安心して過ごせるよう一緒に取り組む。 学習プリントや図形パズルで文字・数・形・色などの概念形成を支援する。 行動 時間の認識や活動時の合図(チャイム)など視覚や聴覚を用いたツールを使って、行動の切り替えを習慣化できるよう環境を整える。													
	言語コミュニケーション	言語 コミュニケーション 「視覚的」「視覚＋言語」「言語のみ」など個々の特性や発達段階に合わせたコミュニケーション手段を確立することで、指示理解の向上に努める。 また日々の生活場面において、お友達や職員とのやりとりができる場を提供(おわりの会)し、言語の習得や自発的な発声を促すよう支援する。													
	人間関係社会性	人間関係 社会性 生活介護との共生型事業所として共に活動する中、余暇活動や集団活動を通して自己理解や他者理解を養う。 事業所外の活動の中でいろいろな体験をし、集団活動でのきまりごとやルールを学び、困ったときに発信できる力を育てる。(散歩・おでかけ・買い物・外食など)													
家族支援		・連絡帳を活用し、ご家庭⇄事業所での様子など情報共有を行う。 ・支援の状況・課題に対し、ご家族と協力して取り組むため個別面談を行う。							移行支援		・共生型事業所として高等部卒業後、生活介護事業所へのスムーズな移行をめざす。				
地域支援・地域連携		・学校や相談支援員等、関係機関と密に連携し支援の方向性や利用状況を確認							職員の質の向上		・事業所内部研修や勉強会実施・外部研修への参加 ・スペシャルラーニングによる個別学習				
主な行事等		・季節のイベント(お花見散歩・夏祭り・プール・ハロウィン・クリスマス会・餅つき・初詣・豆まき・卒業お祝い会) ・おやつ作り ・おでかけ(近隣公園・ミュージアム見学・外食)													